

今年も出水期(円山川では6月15日から10月20日まで)が終わりました。しかし、過去には11月に上陸した台風もあるので、油断は大敵です。川を守るため、今後ともご協力をお願い致します！

## 今年度の出水期を振り返って

10月20日までの出動要請機会は5回であり、去年の13回と比べて半分以下でした。しかし、福田第一樋門と新前川樋門では、計10日間(延べ約150時間)もの出動となりました。また、8月の前線停滞に伴う大雨による出水時には、20箇所(箇所)の樋門等の操作員に出動していただき、出動が4日間に跨がった樋門もありました。長時間に渡る出水対応にご協力いただき、ありがとうございました。

＜出動回数が多かった樋門等＞

4回・・・福田第一樋門、新前川樋門、玄武洞樋門

3回・・・福田第二樋門、下鶴井樋門、進美寺川樋門、浅倉樋門

## 清冷寺樋門操作員の交代！

令和3年9月に新たに河口さんを任命いたしました。(前任は松島さん)  
よろしくお願い致します！

### 操作員としての意気込み(河口さん)

昨年までは消防団に所属していたので、水防関係のことは分かるが、樋門に関しては未経験。



かわぐち  
河口さん

日頃の点検や出動時に実際に体験しながら頑張っていきたい。毎年出水も多いので、地元を守る責任を持って操作に取り組んでいきたい。

## 洪水を安全に流すために

川の中に土砂が堆積したり、樹木が生えたりすると、洪水が流れにくくなってしまいます。そのため河川維持管理の一環として、土砂掘削や樹木伐採が必要です。

今年度は菊屋島付近で土砂掘削を、下鶴井地区で樹木伐採を、土渇地区で土砂掘削と樹木伐採を実施しています。



土砂掘削(イメージ)



樹木伐採(下鶴井地区)

紹介 10月19日付け神戸新聞朝刊で、「円山川沿いにメルヘン小屋・・・!?」という見出しで、樋門の役割等を特集していただきました。